

Title	はじめに
Sub Title	Introductory remarks
Author	「三田史学の百年を語る」企画実行委員会(Organizing Committee)
Publisher	三田史学会
Publication year	1991
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.60, No.2/3 (1991. 6) ,p.1(175)- 3(177)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	三田史学の百年を語る
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19910600-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19910600-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# はじめに

## 「三田史学の百年を語る」

### 企画実行委員会

一九九〇年は慶應義塾に大学部が開設され、その中に史学科がつくられてからちょうど百年目にあたります。この慶事を記念して三田史学会ではこれから慶應義塾での歴史研究の道標をさぐるため、三田史学百年の過ぎ来し方を振りかえるという座談会を企画しました。

座談会は一九九〇年六月一六日と一二三日の両日にわたりて開かれ、パネラーの方々に先学の足跡をたどる報告をしていただき、その後、参会者の方々に先学にまつわる思い出について語つていただきました。この特集号はその時話されたことを録音し、テープからおこして報告者、発言者に加筆訂正していただいたものを編集したものです。

この他、神山四郎先生からはとくに座談会の際、言い足りなかつた部分について補足の原稿を頂きましたので、

座談会の報告のすぐ後に論説として掲載させていただきました。また、東京都立大学名誉教授の村上正二先生からは「小伝 那珂通世——草創期の東洋史学」という論文を特別に寄稿していただきました。この論文はもともと『図書新聞』誌上に昭和四十八年八月二十五日、九月八日、九月十五日の三回にわたって連載されたものです。村上先生には那珂通世に関する書き下ろしの論文をお願いしておりましたが、御病気のためそれがかなわず、やむなく図書新聞社の許可を得て転載させていただきました。

那珂通世は慶應義塾初期の卒業生で東京高等師範学校等で教鞭をとつた東洋史学者です。彼の生涯とその史学上の位置づけを知ることは、神山四郎先生が論じられた福沢諭吉から田中萃一郎に至る三田の史脈を理解していくうえで重要な意味があります。

いく上で、きわめて有益なことと思われます。

なお、報告、発言のなかに登場してくる主要な方々について、「三田の史学者プロフィール」の欄を設け、略歴、業績、人物寸描等を載せることにしました。これは

三田史学会の会員の半数以上をしめる若い学生会員に少しでも三田史学の人脈、その相互関係について知つていただき、座談会の報告、発言の内容を理解する一助にしたいと考えたからです。とくに御名前は記しませんが、お忙しいなか署名原稿を寄せられた執筆者の方々に厚くお礼申し上げます。

河北展生先生の「慶應義塾大学文学部教員担当科目一覧」は、もともと『慶應義塾百年史』（大学編）に収録を予定して執筆されたものですが、種々の事情で今日に至るまで私家版のかたちでしか見ることができなかつたものです。これは史学科のみならず、文学部で教鞭をとられてきた先生方のお名前とカリキュラムとを知るために貴重な資料と思われますので、とくに許可をいただいて載せさせていただきました。この資料には報告、発言のなかに必ずしも登場してこなかつた専任教員以外の非常勤講師の先生方の講義題目も載せられており、「紳士録」としても役立つものと思います。

座談会は多数の方々の参加をいただいて盛会のうちに終わりましたが、とくに司会者、報告者、発言者の方々のお名前を以下に記して御礼の言葉に替えさせていただきます。

司会者

三木 亘（三田史学会々長）

高橋正彦（本塾文学部教授）

坂口昂吉（同 右）

近森 正（同 右）

報告者（発言順）

神山四郎（本塾名誉教授、神田外語大学外国語学部教授）

河北展生（本塾名誉教授）

林 基（専修大学名誉教授）

速水 融（国際日本文化センター教授、本塾経済学部客員教授）

森岡敬一郎（本塾名誉教授、創価大学文学部教

江坂輝弥 (本塾名誉教授、松阪大学政治経済  
学部教授)

伊藤清司 (本塾名誉教授、杏林大学外国語学  
部長)

坂本 勉 (本塾文学部教授)

発言者 (五十音順)

岩見 隆 (本塾言語文化研究所講師)

小川英雄 (本塾文学部教授)

可児弘明 (本塾文学部教授)

志水正司 (本塾文学部教授)

家島彦一 (東京外国语大学アジア・アフリカ  
言語文化研究所教授)

論説執筆者

村上正二 (東京都立大学名誉教授)